

法学部

一般入試
大学入試センター試験利用入試

法学部入試のPOINT

1. 全ての入試方式において、全学科併願することができます。
2. 選考料は一般入試＝¥35,000、センター併用方式＝¥19,000、センター単独方式＝¥15,000 です。
3. 一般入試との同一学科の併願により、センター併用方式およびセンター単独方式(前期選考)の選考料が免除されます。
4. 一般入試を複数学科併願する場合、2学科目以降の出願については、選考料の減額(割引)を受けることができます。
[選考料] 1学科目＝¥35,000、2学科目＝¥15,000、3学科目＝¥15,000

〈試験方式の表記について〉

大学入試センター試験利用入試の各試験方式について、以下のように省略して表記しています。

「大学入試センター試験利用入試併用方式」……「センター併用方式」

「大学入試センター試験利用入試単独方式」……「センター単独方式」

試験方式	試験教科・科目		試験日	試験時間	配点	備考		
一般入試	4教科型	外国語	英語(コミュニケーション英語I・II・III、英語表現I・II)	全学科 2020年2月12日(水)	12:55～14:25	90分	150点	国際企業関係法学科の「外国語」は150点を200点に換算します。
		国語	国語総合(漢文を除く)		15:00～16:00	60分	100点	
		地理歴史・公民	世界史B、日本史B、政治・経済から1科目選択		10:30～11:30	60分	100点	
		数学	数学(数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル))		16:35～17:35	60分	100点	
							合否判定は、4教科4科目の合計得点(450点満点、国際企業関係法学科は500点満点)で行います。科目の得点は必要に応じ、偏差点を使用する場合があります。	
	3教科型	外国語	英語(コミュニケーション英語I・II・III、英語表現I・II)	全学科 2020年2月12日(水)	12:55～14:25	90分	150点	国際企業関係法学科の「外国語」は150点を200点に換算します。
		国語	国語総合(漢文を除く)		15:00～16:00	60分	100点	
		地理歴史・公民 数学	世界史B、日本史B、政治・経済、数学(数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル))から1科目選択		(地理歴史・公民) 10:30～11:30 (数学) 16:35～17:35	60分	100点	「地理歴史・公民」と「数学」を2科目登録受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用します。
						合否判定は、3教科3科目の合計得点(350点満点、国際企業関係法学科は400点満点)で行います。科目の得点は必要に応じ、偏差点を使用する場合があります。		
センター併用方式	大学入試センター試験	外国語	英語(リスニングテストを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目選択	全学科 2020年2月12日(水)	—	—	100点	「英語」は、リスニングテストの得点を含む250点を100点に換算し、その他の「外国語」は、200点を100点に換算します。「英語」について、大学入試センターからリスニングテストの免除を認められている場合は、筆記試験の200点を100点に換算します。
		国語	国語		—	—	200点	
		地理歴史・公民 数学 理科	地理歴史・公民(「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理、政治・経済」)、理科(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目選択 数学(「数学I・数学A」、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」)から1科目選択 合わせて2教科2科目選択		—	—	各100点 2教科 2科目 200点	「地理歴史・公民」、「数学」、「理科」について、2教科2科目を超えて受験した場合は、「数学」1科目を含めた高得点の2科目を合否判定に使用します(「数学」2科目可。ただし、この場合も2教科以上受験すること)。「数学」について、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校または中等教育学校において、これらの科目を履修した者および専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。「理科」について、基礎を付した科目は、2科目で1科目として取り扱い、2科目の合計得点を合否判定に使用します。
	個別試験	一般入試の外国語	英語(コミュニケーション英語I・II・III、英語表現I・II)		12:55～14:25	90分	200点	「英語」の個別試験の配点は、一般入試の150点を200点に換算(国際企業関係法学科は300点に換算)します。
	*センター併用方式は、一般入試の指定科目の得点とセンター試験の指定科目の得点を組み合わせて合否判定する、一般入試やセンター単独方式とは別の入学試験です。						合否判定は、大学入試センター試験で受験した4教科4科目のうち、「外国語」、「国語」の2科目と、選択受験した「数学」を含む2教科2科目以上のうち、高得点の2科目(4科目合計500点満点)と、個別試験の合計得点(700点満点、国際企業関係法学科は800点満点)で行います。	
センター単独方式	5教科型(前期選考・後期選考共通)	外国語	英語(リスニングテストを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目選択	—	—	—	200点 後期選考は150点	「英語」は、リスニングテストの得点を含む250点を200点(後期選考は150点)に換算し、その他の「外国語」は、200点満点の得点(後期選考は150点に換算)を使用します。「英語」について、大学入試センターからリスニングテストの免除を認められている場合は、筆記試験の200点満点(後期選考は150点に換算)の得点を使用します。
		国語	国語		—	—	100点	「国語」は200点を100点に換算します。
		地理歴史・公民 数学 理科	地理歴史・公民(「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理、政治・経済」)、数学(「数学I・数学A」、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」)、理科(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から3教科4科目選択(「地理歴史・公民」は1教科として取り扱う)		—	—	各100点 3教科 3科目 300点	「地理歴史・公民」、「数学」、「理科」について、3教科から各1科目を含む4科目以上を選択受験すること。なお、受験した4科目以上のうち、高得点の3科目を合否判定に使用します(同一教科2科目まで可。ただし、「現代社会」と「倫理、政治・経済」はどちらか1科目しか合否判定に使用できません)。「数学」について、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校または中等教育学校において、これらの科目を履修した者および専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。「理科」について、基礎を付した科目は、2科目で1科目として取り扱い、2科目の合計得点を合否判定に使用します。また、基礎を付した科目と基礎を付していない科目のうち、同一科目名称を含む科目は同時に合否判定に使用しません。
							合否判定は、大学入試センター試験で受験した5教科6科目のうち、「外国語」、「国語」の2科目と、選択受験した科目のうち高得点の3科目の合計得点(前期選考は5科目600点満点、後期選考は5科目550点満点)で行います。	
	3教科型(前期選考のみ)	外国語	英語(リスニングテストを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目選択		—	—	—	300点
国語		国語	—	—		200点		
地理歴史・公民 数学 理科		地理歴史・公民(「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理、政治・経済」)、数学(「数学I・数学A」、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」)、理科(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目選択	—	—		200点	「地理歴史・公民」、「数学」、「理科」は100点を200点に換算します。「地理歴史・公民」、「数学」、「理科」について、2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用します。「数学」について、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校または中等教育学校において、これらの科目を履修した者および専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。「理科」について、基礎を付した科目は、2科目で1科目として取り扱い、2科目の合計得点を合否判定に使用します。	
						合否判定は、大学入試センター試験で受験した3教科3科目の合計得点(700点満点)で行います。		
統一入試	→P137参照		全学科 2020年2月9日(日)					

注1:色の濃い部分は本学の個別試験を、色の薄い部分は外部試験を表しています。
注2:一般入試の選択科目は全て出願時登録制です。